

学生のための
男女共同参画
ワールド・カフェ

PART 2

100人 男子会×女子会 っちゃ!

学生だけの本音ミーティング in 北九州

[報告]

日時:平成25年12月21日(土)10:00~12:30

場所:西日本総合展示場(福岡県北九州市小倉北区)

主催:文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課

共催:NPO法人ファザーリング・ジャパン

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)

後援:内閣府男女共同参画局



はじめに

平成 25 年 12 月 21 日 (土)、福岡県北九州市にて「100 人男子会 × 女子会 (だんじょかい) っちゃ! ~学生だけの本音ミーティング in 北九州~」をファザーリング全国フォーラム in 九州の分科会として開催しました。

このワールド・カフェでは、文部科学省における男女共同参画社会の形成に向けた取組の一つとして、これから社会で活躍する学生に、男女の働き方や家庭生活に関する現状を知っていただき、お互いの本音トークをヒントに将来の「生き方」や「働き方」、「男女が共に活躍できる社会」について考えていただくことを目的に実施しました。

当日は、様々な大学・学部の学生が参加し、同年代の学生

同士による率直な対話が行われました。平成 24 年度に男子学生のみで実施した「100 人男子会」(※) では、男性同士で気取らない率直な意見交換が行われ、それぞれの学びや気づきがありましたが、今回のワールド・カフェでは、女性の意見も加わり、新たな視点や考え方の発見がありました。

本報告書にて当日の様子をお伝えします。全国に同様の取組が広がり、多くの方に男女共同参画社会について考えていただくきっかけとなれば幸いです。

※「100 人男子会」については、「男女共同参画社会の推進のために」(<http://danjogaku.mext.go.jp/>) を御覧ください。

オープニング

- ・主催者の挨拶
- ・講師、ゲストコメンテーターの紹介
- ・本日の目的、流れの説明

9 マス 自己紹介

ミニミニ 講義

数字やデータから男女共同参画を学ぶミニミニ講義を行います。

ワールド・カフェ

第 1 ラウンド

男子
テーブル

女子
テーブル

「問 1」に対し、各々が意見を付せんに書きだします。

第 2 ラウンド

男女混合
テーブル

各テーブルごとに意見を書き出した付せんを分類しながら、模造紙に貼っていきます。

講師

萩原 なつ子

立教大学大学院
21 世紀社会デザイン研究科教授
認定特定非営利活動法人
日本 NPO センター 副代表理事



内閣府「男女共同参画推進連携会議」議員。前文部科学省「中央教育審議会生涯学習分科会」委員。大学で教鞭をとる傍ら、市民参加型の様々なワークショップに関わっており、広範なネットワークを生かして、ユニークで斬新なイベントを仕掛けている。

ファシリテーター

古瀬 正也

古瀬ワークショップデザイン事務所代表
ばばとままになるまえに (特定非営利
活動法人申請中) スタッフ (理事予定)



1988 年生まれ、さいたま市在住。2008 年にワールド・カフェを体験し、対話に興味を持つ。2010 年に全国 47 都道府県でワールド・カフェを開催し、約 1200 名が参加。2013 年に修士論文「ワールド・カフェ・デザインの可能性」を執筆し、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了。社会デザイン学修士 (MBA)。現在は、フリーランスのファシリテーターとして活動中。

[参加者について]

参加人数：57名

学 部：法学部、教育学部、文学部、人間社会学部、
人文学部、経済学部、情報工学部、
看護学部、医学部 等

学 年：1年20名、2年19名、3年8名、
4年2名、無回答8名

ワールド・カフェとは？

ワールド・カフェとは小グループで席替えを繰り返しながら議論を深める話し合いの手法です。あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られます。

第3ラウンド



「問2」について各テーブルごとに話しながら、自由に模造紙に書き込みます。

第4ラウンド



「問3」の答えをまとめてシートに各テーブルごとに書きます。

全体共有



いくつかのテーブルから代表者にまとめて発表してもらい、全体共有を行います。

ゲスト
コメンテーター
からのコメント

閉
会

02

ゲストコメンテーター

安藤 哲也

特定非営利活動法人
ファザーリング・ジャパン
副代表理事



1962年生まれ。二男一女の父親。出版社、書店、IT企業など9回の転職を経て、2006年にNPO法人ファザーリング・ジャパンを設立。厚生労働省「イクメンプロジェクト推進チーム」座長、内閣府「男女共同参画推進連携会議」議員、内閣府「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」メンバー、観光庁「休暇改革国民会議」委員、東京都「子育て応援とうきょう会議」実行委員なども務める。

工藤 啓

特定非営利活動法人育て上げネット
理事長



2001年若年就労支援を専門とする任意団体設立、2004年NPO法人化。著書に「NPOで働く一社会課題を解決する仕事」（東洋経済新聞社）、「大卒だって無職になるー“はたらく”につまずく若者たちー」（エンターブレイン）など多数。金沢工業大学客員教授、東洋大学非常勤講師。内閣府「パーソナルサポートサービス検討委員会」委員、東京都「東京都生涯学習審議会」委員等歴任。

ミニミニ 講義

講師：萩原 なつ子氏
立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授
認定特定非営利活動法人日本NPOセンター副代表理事

▼数字が語る男女共同参画社会の現状

今回のミニミニ講義のテーマは「数字で見る男女共同参画」です。ここでどんな数字があるのかを、見ていきたいと思えます。その前に、なぜ、参加ではなく参画だと思いますか？参画というのは物事を作っていくに当たり、企画の段階から責任を持って関わっていくことを意味します。皆さんは今日、この場に参加していますが、この経験が今後、自分の発想のヒントとなったり、ゼロからプランを作る際の助けになるかもしれません。今回の男女共同参画とは、男女一緒に責任を持って関わり、物事を作っていくということ。そこが大切なんです。それを踏まえて進めていきたいと思えます。



この数字の意味は？

105

では、最初の数字「105」。これは世界経済フォーラムという国際団体が各国の男女格差を順位付けしているものです。日本は2012年135か国中101位でしたが、2013年は105位まで落ちてしまいました。ここまで落ちた一番の原因は、衆議院議員の女性の数が減ったことにあります。480名中39名しか女性の議員はいません。海外メディアからは、日本の女性国会議員は絶滅危惧種か、と言われているそうです。国会というものが決定する場で、男女が半数ずついないのはおかしいのでは、と感じてしまいますよね。

次にお見せるのは、女性の年齢階級別労働力率の変化のグラフです。日本と韓国は、30歳代を底とするM字カーブを描いています。スウェーデンやドイツは、結婚や妊娠、出産があっても仕事を辞めないで、グラフは台形になります。日本の女性はなぜ、辞めなければならないのでしょうか？私も結婚、妊娠出産という時期に転職しています。本当は続けたいけれど、続けられないという状況はなかなか変わっていません。



この数字の意味は？

202030

ニーマルニーマルサンマル

「202030」。この数字の意味は、2020年までに指導的地位に女性の占める割合を30%にする、という政府の目標を表しています。企業における管理職や、専門性の高い職業に従事する者など、ものごとを決定する地位の女性の数を増やそうという目標ですね。

では皆さんは短大生、大学生ですが、大学ではどれだけ女性の地位が、確立されているか知っていますか？何と学長は8.7パーセント、教授クラスで13.4パーセントです。先日、東京六大学においても初となる女性の学長が、法政大学で選出されました。学生数では、女子学生が増えています。しかし、まだまだ、女子学生のロールモデルとなるような女性の教授が少ないんです。

昨今、ワークライフバランスという考え方のもと、仕事も家庭も地域のことも男女共にやっていく時代を作ろうと言われています。地域で重要な役割を果たす自治会の自治会長。この自治会長の女性の割合は4.4パーセントです。



また、男性に目を向けますと、週60時間以上勤務の男性労働者が非常に多いです。安藤さんが所属する「ファザーリング・ジャパン」も男性の育児参画を進めるために活動されていますが、男性たちも実は、育児や家事、地域活動もしたいんです。でも、長時間労働の問題も容易に解決できません。

「私らしく、自分らしく、あなたらしく生きる社会である男女共同参画社会」を作っていくためには、この状況を変えることから考えないとならないですね。男性、女性の育児休業取得率を見ますと、女性が83.6パーセントで男性が1.89パーセント。男性が育児に関わる割合をもっと増やしたいところですが、それを解決するのは皆さんののかもしれないですね。

【図1】男女共同参画に関する国際的な指標

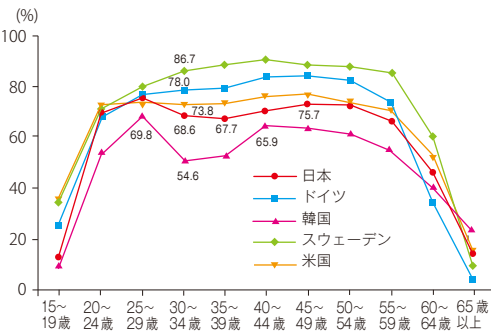
GGI	2013年公表	順位	国名	GGI値
[ジェンダー・ギャップ指数] 105位 / 136 国	経済、教育、保健、政治の各分野毎に各使用データをウェイト付けて総合値を算出。その分野毎総合値を単純平均してジェンダー・ギャップ指数を算出。 0が完全不平等、1が完全平等	1	アイスランド	0.873
		2	フィンランド	0.842
		3	ノルウェー	0.842
		4	スウェーデン	0.813
		5	フィリピン	0.783
		6	アイルランド	0.782
		7	ニュージーランド	0.780
		8	デンマーク	0.778
		105	日本	0.650

【参考】日本の各分野の順位とGGI値

〔 経済分野 104位 (0.584)、教育分野 91位 (0.976)
保健分野 34位 (0.979)、政治分野 118位 (0.060) 〕

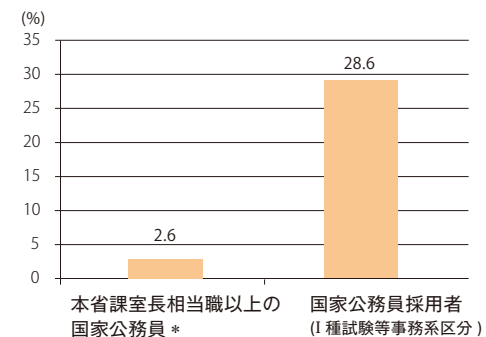
出典 世界経済フォーラム The Global Gender Gap Report 2013 より作成

【図2】年齢階級別就業率の変化（女性）



備考 1. 「労働力率」は、15歳以上人口に占める労働力人口（就業者＋完全失業者）の割合。
2. 米国の「15～19歳」は、「16～19歳」
3. 日本は総務省「労働力調査（基本集計）」（平成24年）その他の国はILO「LABORSTA」、ILOSTATより作成。
4. 日本は2012（平成24）年、その他の国は2010（平成22）年の数値（ただし、ドイツの65歳以上は2008（平成20）年）。
出典 内閣府「平成25年版男女共同参画白書」

【図3】国家公務員に占める女性の割合



備考 内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調べ」（平成24年12月）
*は23年のデータ
出典 内閣府「平成25年版男女共同参画白書」

▼多様な選択肢がある社会とは

ここで、国における女性の活躍推進について、安倍首相が掲げていることを紹介します。一つは、「若者が活躍し、女性が輝く社会を創り上げること。これこそが、私の成長戦略です」とあります。また、「仕事で活躍している女性も家庭に専念している女性も全ての女性が、自信と誇りを持ち、輝けるような国づくりを進めます」とあります。家庭に専念する女性とありますが、前回の100人男子会では、「女性の方が選択肢があるじゃないか。男性は働くという一つの選択肢しかない」「男性も家事や育児をやりたい」という意見がありました。男性側から見れば、育児をしたいのに残業で帰れないということもあります。女性に選択肢があるのなら、男性にも選択肢があってもいいのではないのでしょうか。

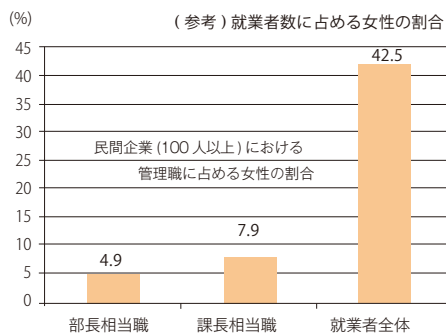


05

では、目の前に幾つかあるお菓子の中から好きなものを一つ選んでください。そう言われたとき、これがもしチョコレートしかなかったら、どうでしょう？ チョコレートが嫌いな人は選ばせません。おせんべいしかなかったら？ 何種類かあるということが楽しさを生み出します。迷いもします。この迷うこと、選べるものがあるということがとても大事だと私は思います。この選択肢のある社会をどう作っていくのか。男性、女性に関わらず、自分はこうありたいと思ったとき、これをやりたいと望んだときに「どうぞ」とチャンスを平等に与えられるような、そんな社会を作っていくことを目標としたいですね。

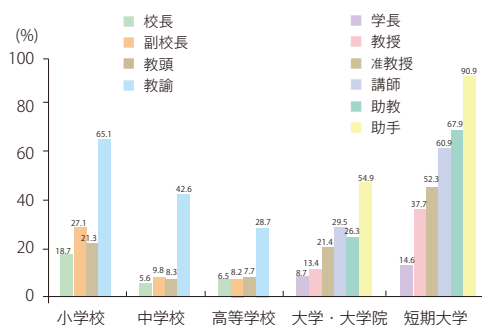
皆さん一人一人が男女の枠にこだわらず、自分がどうしたいのかを考えて行動する。そして、誰かがこんなことをやってみたいと言ったときに、応援する一人にもなれる。男女が共に活躍する社会をどう作っていくのか。これからの企業、社会、世界的にもとても重要なことです。このワールド・カフェを通して、皆さん一人一人が自分自身を見つめ直して、その先の未来を考えていただきたいと思います。

【図4】民間企業(100人以上)における管理職に占める女性の割合



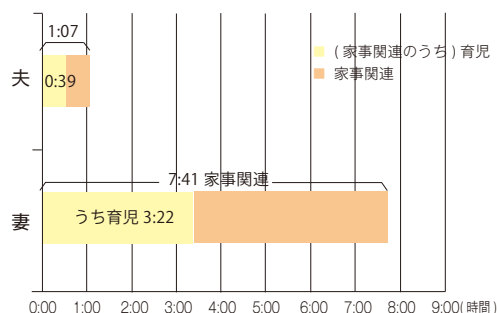
(1) 民間企業(100人以上)における管理職
出典 内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調べ」(平成24年12月)
(2) 就業者数に占める女性の割合
出典 総務省「労働力調査」(平成24年12月)

【図5】教員に占める女性の割合



備考 文部科学省「学校基本調査」(平成24年度)より作成
出典 内閣府「平成25年版男女共同参画白書」

【図6】6歳未満の子がいる妻・夫(夫婦と子供の世帯)の家事関連時間(週全体)



※「家事関連時間」は、「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計
出典 総務省統計局「社会生活基本調査」(平成23年)



ワールド・カフェ

今回のワールド・カフェでは、第1ラウンドは男子と女子が分かれて座り、第2ラウンドから同じテーブルに座ります。男女共同参画をより深く考え、お互いの意見をより広く共有し、自分にとっての学びと気づきを得ることを目的としました。

ワールド・カフェの導入

ファシリテーター古瀬氏の挨拶があり、今回のワールド・カフェの流れ、話し合いのルール等が説明されました。



カフェ・エチケット(ルール)

1. 議論ではなく、対話を!
2. 否定せず、どんな意見でも歓迎しよう!
3. 対話を楽しもう!



本日は「女性の活躍」「男性の活躍」の視点から男女共同参画社会について考えます。講師、ゲストコメンテーターの皆さんに一言、聞いてみましょう!

最近、出会った“活躍している”カッコいい女性(男性)はいますか?



安藤さんから一言!

児童買春に関する問題解決をやっている NPO 代表の女性。おっとりした女性なんだけれど、内に秘めたものがあって、課題を解決するために何をすればいいか考えて、周りを巻き込む力も持っている。決められたレールの上に行くのではなく、自分で課題を見つけて自分にしかできないことをやっている女性って、男性もだけど、カッコいい。



工藤さんから一言!

僕の妻です。今、育休中です。早期職場への復帰期待もあったようですが、これから育休を取得していく職場の人間が安心して育休を取れるようにと、彼女自身が育休制度をしっかり活用しています。自分自身を超えた目線で物事を捉えている。自分事と社会のことを結びつけて考えているのはすごくカッコいいなと思います。



萩原先生から一言!

私は最近ではないですが、昔からずっと、うちのおじいちゃんがかっこいいと思っています。明治生まれなんだけど、育児日誌を書いていた。自分の妻を尊敬していて、子育てというのは次世代を担う人たちを育てていく大切な仕事なんだということで関わっていた。広く社会を見て生きている潔さっていうのは男女ともカッコいいですね。

第1ラウンド

[15min.]

男子テーブル “活躍している女性” ってどんなイメージですか？

女子テーブル “活躍している男性” ってどんなイメージですか？

講師とゲストコメンターの話を受け、ワールド・カフェが始まりました。第1ラウンドは男女、別々のテーブルで進めます。

個人プレスト (5分)

男子
テーブル



“活躍している女性像” はこんなイメージ、と思いつくキーワードを付せんに書いていきます。



ワールド・カフェ、第1ラウンドです。男子、女子と分かれてテーブルにつきます。

女子
テーブル



“活躍している男性像” はこんなイメージ、と思いつくキーワードを付せんに書いていきます。



男女色別の付せんを使って一枚に一つずつキーワードを書き込んでいきます。



だんだん
まとまってきたかな...

各自、A3用紙にキーワードを書いた付せんを貼っていきます。

共有 (10分)

注目!



各テーブルごとにそれぞれが出したキーワードを見せながら、グループで共有します。



共感できる意見を自分の意見に追加していきます。

第1ラウンド終了。ここで席替えです。



4人のうち1人がテーブルホストとしてテーブルに残ります。残りの3人は旅人となり、各自、付せんを貼ったA3の紙を持って別のテーブルに移動します。

男子
テーブル

- 「スポーツ選手」
- 「先生」
- 「家庭の中で活躍しているお母さん」
- 「モデル」
- 「研究者」
- 「思ったことをはっきり言える人」
- 「大統領」
- 「～らしさがある」
- 「やりたいことをできている人」
- 「男性ばかりの職場でも自分を失わない人」
- 「良妻賢母」



第2ラウンド

[10min.]

第2ラウンドは、男女混合のテーブルになり、それぞれの意見を交換しながら、対話を進めます。
付せんを活用して、さまざまな意見を分類・グループ化し、整理していきます。

男女混合 テーブル

各テーブルは
男性、女性混合になります。



やった～

分類 (5分)

第2ラウンドはキーワードを
分類、グループ化していきます。



自分の付せんを貼った
A3の紙を見せながら説明し、
キーワードを書いた付せんを
模造紙に移していきます。

自分のA3用紙の付せんが
なくなったら、次の人に
バトンタッチです。



似たような意見があった場合、
他の人も便乗して模造紙に
自分の意見を貼っていきます。

いいね!



自然といろんな意見が
飛び出します。

グループ化 (5分)

全員が貼り終わったら、グループ化します。



まるで囲んだり、
関係性を矢印で示したり。



白熱中!

5分で各チーム
まとめていきます。



まとまってきたら、それぞれ
小見出しをつけていきます。

たくさんの意見が
まとまってきました。



- 「社長」
- 「仕事も家庭も自分の趣味も充実」
- 「サラリーマン」
- 「常に学ぶ姿勢がある人」
- 「アスリート」
- 「消防士」
- 「父」
- 「高学歴・高収入」
- 「子どもにも仕事にも一生懸命」
- 「家事を協力してくれる」
- 「地域活動に貢献している」

女子
テーブル

※ワールド・カフェでの参加者の発言又は模造紙のメモを要約



第3ラウンド

[15min.]

問2 “活躍している人”の共通点は、
いったい、何だと思えますか？

第2ラウンドの席のまま、今
までに出たキーワードを見な
がら、問2の答えをグループ
それぞれで出していきます。

男女混合
テーブル

第3ラウンドに入りました。
席は移動しません。

ダイアログ (15分)

第3ラウンドの問いが
出されました。

よーし!



付せんを貼った模造紙を
横におき、下の新しい模造紙を
出します。



グループ化した付せんを見ながら、
活躍している人の共通点を出していきます。



だんだん
まとまって
きたかな...

09



新しい模造紙に自由に
書き込みながら話していきます。



だんだん抽象化された
フレーズが書き込まれていきます。

【席替え】



ここで2度目の席替えです。
テーブルホストを残して、
残り3人が違うテーブルに移動します。

「生活と仕事が両立できる人」

「仕事とプライベートのバランスがとれている人」

「家族を大切にする」

「計画性がある」

「行動に移せる人」

「自分に素直な人」

「楽しんでいるイメージ」

「意識改革・・・？」



第4ラウンド

[20min.]

問3 “男女が共に活躍できる社会”には、
何が必要なのでしょう？

最後のラウンドは、グループごとに話し合い、問3の答えを出します。最終的にまとめシートにグループの答えをワンフレーズで書きます。

男女混合
テーブル

席替えをして、
第4ラウンドに入りました。
まとめシートが配られます。

まとめセッション (20分)



第4ラウンドの問いが出されました。



そのフレーズも
いいね!

十分に時間をとって
話し合います。



まとめシートにチームの
答えをワンフレーズで
書きます。



ファシリテーターからあと
10分でまとめシートに
書き込む合図が出されました。



これで、
いい?

1つにまとめるのは
なかなか難しいです。



時間ギリギリ、まとめシートに
書き込みます。



- 「お互いを信頼して協力すること」
- 「安心して子どもが産めて働ける社会」
- 「ロールモデルを知ること」
- 「多様な選択ができる環境」
- 「ワークライフバランス」
- 「お互いを思いやって一人一人が意識を変えること」

※ワールド・カフェでの参加者の発言又は横造紙のメモを要約



全体共有

[10min.]

話し合った考え、意見を共有するために
いくつかのグループから
代表者に発表をしてもらいました。



私たちのグループのキーワードは“理解”です。男性も女性もお互いのことを理解し合っ、思いやりや認め合いをしていくことが、男女が共に活躍できる社会には大事なので、この言葉を選びました。

キーワードは“素敵な魅力を持っている人材を育てる環境づくり”です。素敵なところを持っている人が好かれるし、自分が素敵になろうとしている人も魅力があり、結果、活躍できる。だから、女性、男性に関わらず自分が素敵になるための環境が必要なのは、という結論に至り、この言葉になりました。



このグループのキーワードは“協調性”です。できることとできないことをお互いに認め、できることは伸ばして、できないことは助け合う。人生一人では生きていけないので、みんなで協力して楽しみましょう、という思いからできました。

僕たちのグループのまとめのキーワードは“働くことが偉い、という常識をなくす”になりました。男性も女性もバリバリ働いている人もすごいし、家事や育児をしている人もすごい。働くことだけでなく、家庭での活躍も認められる環境になるといいと思う。



11



萩原先生から、「今まで発表していただいた方たち全員男性です」と指摘がありました！

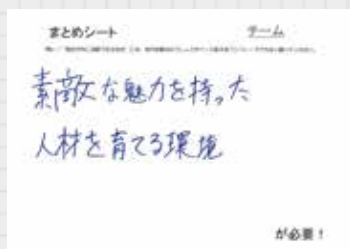
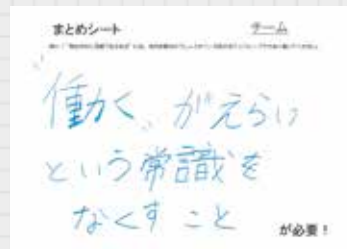
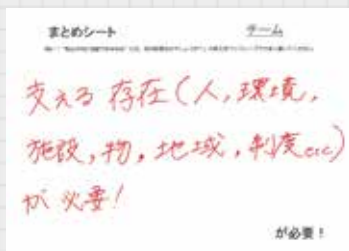
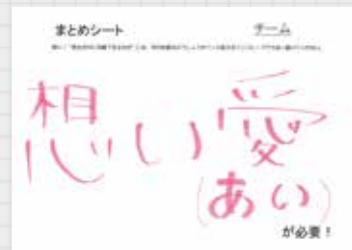
この一言にハッと気づく参加者たち。
早速、女性が手を上げました。

私たちのキーワードは“I want to~”です。ふと出た意見なんですけど、天秤に例えて、左が夫、右が妻とします。妻に家事育児の負担がかかると右側が下がり、天秤のバランスがとれない状態です。それを上手く分担して、天秤が水平になるためにはどうしたらいいか。妻が夫に「家事をして」と言い、夫が仕事の合間を見つけて家事をする。それだと一方通行に矢印が向いた状態です。では、お互いから「家事しようか」「育児しようか」と、その矢印がお互いの方を向くようにする。お互いのワークライフバランスをしっかりと取れるよう“I want to~”(～しようか)をお互いにできたらいいんじゃないか、と考えこのキーワードになりました。



おもいあい
私たちがまとめた言葉は“思い愛”です。男女共に活躍できる社会に必要なこととして、「自分の存在や考えを大切にしてい、自分に正直である」「ユーモアがある」「視野が広い」「人に頼ることができる、信頼関係」などがありました。また、自分のことを考える、思う。他人のことを考える、思う。それを相互にし合うという意味から、“愛”という言葉を使い、この言葉となりました。

【まとめ】



ゲストコメンテーター からのコメント

安藤 哲也氏
NPO法人ファザーリング・ジャパン副代表理事

工藤 啓氏
NPO法人育て上げネット理事長



13



ワールド・カフェを終えて、ゲストコメンテーターの意見に耳を傾けます。

▼手を取り合うことを実現できる世の中に！

萩原 では、安藤さん、工藤さんからそれぞれ今日の感想を述べていただきたいと思います。

安藤 今回、僕が思ったのは、皆さんは非常に男女の平等感覚があり、男女一緒に共生していこうという意識があるんだなということです。それは、君たちのお父さん、お母さんよりも格差を受けていない世代だからなのかなと。ただ、萩原先生の指摘にもあったように、先ほどの重要な発表は男性がしていましたね。それは、女性は男性を立てるという、世間体を意識した男女のモデルが刷り込まれているのかなと感じました。

それでも最後の問い「男女が共に活躍できる社会」には、何が必要なのでしょう？」のときには、女性がイニシアチブをとって、意見を述べていましたね。それは、男性の場合、子供が生まれたときに会社を辞めるという考えは出てこないけれど、女性は考えてしまう。それを予感できている分、この問いに対して、積極的に発言していたのが印象的でした。

僕自身、養護施設の子供たちの支援などしているのですが、そこで感じることは、男性女性に関わらず、弱者と呼ばれる人がたくさんいるという現実です。ですから自分だけが幸せな社会ではなく、男性、女性そして弱者も含めて皆が手を取り合うことが、とても大切なことだと思います。それには、「思い合う」だけでなく、現実の手を取り合って、互いが笑顔になれる実績を作っていく。そして、それを見て共感した人が、それを広げ



萩原先生の司会で進行していきます。



ていく。それには、皆さんの答えの一つにもあったように、“他者への想像力”が必要なんですね。

「“活躍している人”の共通点は、いったい、何だと思いませんか？」の問いに、“挫折・失敗の経験がある人”と書いた女性がいました。僕もいろんな挫折を経験しています。こんな僕が好きな言葉に「No pain No gain」というのがあるのですが、痛みがなければ前進もないんです。皆さんも社会に出ると挫折や失敗を経験すると思います。そんなときには、さっきお話しした、手を取り合うことを忘れないでください。誰か困った人がいたら助ける。そういうことが当たり前になれる人になってほしいなと思います。

▼個人の問題を社会的視点で考えてみる

工藤 僕は始め、「活躍できる人、できない人」を論じていくとだんだん個人の問題になってしまうのでは、と危惧してしまいました。その人の努力が足りない、その人のコミュニケーション能力が足りないなど、どんどん個人が物事の原因となってくる。僕は少年院や少年鑑別所、生活保護の家庭などでいろんな子供を見ている。そのときにいつも何が彼らをそうさせたのかを考えるんですが、個人の努力や資質の問題にすると、何も進まないんですね。結局アイツが悪いんだ、で終わってしまうだけで。空気感や勝手に思い込んでいる常識など、それが問題なのではないかと。そういう意見交換ができたのがいいなと思いました。社会がどうあるか、そこを考えると問題解決の糸口もみつかるのではないのでしょうか。

そして、女性が活躍できないとしたら、どんな女性が活躍できないかではなく、どんな環境や社会が女性の活躍の芽を摘み取ってしまうのかと考えていく。結果として、やはりどう社会を変えていくのが論点になっていくのかなと思います。

今回この会場には、全国の短大生、大学生の中から、ほんの一部の人たちがたまたま来ただけだと思います。ですから、ここに来た皆さんには、自分たちを意識の高い人間で終わらせるのではなく、こういう場に足を運ばないだろうという友人に、今日の話をしてあげてほしいと思います。友人たちが集まるお酒の席などで思い切って語ってみてください。そうしたとき、うさげられたり、避けられたり痛みを伴うでしょう。でも誰かがそれを乗り越えてやらないと社会は変わりません。

それからもう一つ、こうした社会問題などの高尚な話をすると楽しいし、自分が偉くなった気がします。例えば、誰かとゴミ問題を話しながら歩いていると、何となくカッコイイ。でも、そうして話しながら歩く途中に落ちているゴミを拾わないとしたら？こういう目の前の自分自身の問題に気づかなくてはならないんです。



何か行動するときに思い切ってやった方がいいとよく言われますよね。僕が大先輩から頂いた言葉なんですが、「思う」と「切る」の二つの動詞を合わせた「思い切る」ためには、やらなくてはならないことが二つある。思うことを切らないと思い切れない。つまり物事を考えて考えて考えている間に人は行動することができなくなる。ある段階で考えることをやめて行動することが、思い切ってやるということだ」と。皆さんも是非、明日から、嫌われるとか、疎まれるとか、そんなことを思うことをやめて、全てを語ってみるということを思い切って始められたら、何かが変わっていくのかなって思います。

▼一人一人のアクションが未来を作っていく

安藤 工藤さんのおっしゃっていた自分自身で行動することは、学生だけではなく、誰にでも当てはまることだと思いますね。

萩原 高い意識を持って社会に出てもそういう行動を阻む大人がいます。そこは大人たちが何とかしてはならないですね。そして今、働くということがお金を稼ぐということだけになる傾向があります。だから、ワークライフバランスのワークって何だろうと、そこから見つめ直す必要があります。お金を稼ぐ仕事以外にも活躍する場はあるし、二つの名刺を持って活動している人もいますね。良い意味での非常識人になるということが大事です。当たり前を疑って固定観念から自由になることですね。

工藤 今の当たり前って、多分、昭和の時代から続いている当たり前なんですね。皆さんの世代とは違うんじゃないかと思います。例えば、大学を留年や中退をせずに4年間で卒業して、卒業と同時に正社員となり、最初の会社で3年働く。これが当たり前とされていますが、現在の大学生に聞くと、31パーセントしか実現できていません。69パーセントは、中退するか、留年して5年以上かけて卒業する。若しくは、就職しても3年以内で辞めている。このように当たり前と思っているが故に、調べもしないことがたくさんあるんですね。人の話を聞くことも大事ですが、あえて疑って自分で調べてみることも重要です。

安藤 今の時代、インターネットで簡単に検索できちゃうけど、本当にそうなのかなと思ったら、一番は聞きに行く。その問題のあるところへ取材してみる。それでそれ以上の話が出てくるとか、もっと深いことが分かることもありますよね。違う角度から見てみるとか、多面的な視点を持った方がリスクも減っていくんでしょうね。

萩原先生の声かけで、みんなと手をつなぎます。





ゲストコメンテーターの熱いメッセージにみんな聞き入ります。

萩原 では、最後にワンフレーズ・メッセージをお願いします。

工藤 僕は頼れる相手がいることは、とても重要なことだと思っています。人に頼るということは頼られる自分でもある。調べてみると“頼る”という言葉の語源は、手という漢字と御縁の縁でできていて、恐らく自分の両手を広げた 1.5~2m、半径2~3mくらいの自分の円の中に入ったことしか、人は頼ったり、頼られたりできないのではないのでしょうか。その自分の視野に入った問題に対して、積極的にアクションを仕掛けていく。それが社会を考えていくことにもつながっていく。僕はそうやってこれからも皆さんとアクションを起こしていきたいなと思っています。

安藤 働いてお金を稼ぐことは偉いという風潮ですが、お金を稼ぐことだけが目的の働き方は良くないと思うんです。働くという漢字は人が動くと書きますが、そばにいる人を楽にするという意味もあります。それは家で育児や介護をやっている人も、外でお金を稼いで働く人と全く同じ働く人だということなんです。どっちも偉い。それをお互い認め合って、尊重しながらやっていければいいと思う。ファザーリング・ジャパンはそれを目指しています。仕事も育児も楽しめる人生を皆で考えればできるんだよ、ということを全国のパパたちに伝えていきたいと思っています。

萩原 今日ここに来た皆さんが、このあと、どう友人たちに伝えていくのか。情報には力があります。それを皆さんでシェアして使い、そしてアクションにつなげていきましょう。隣の方と手をつないでみてください。はい。こうして緩やかにつながることがとても大事なんですね。今日は皆さん、ありがとうございました。



「緩やかにつながる」その意味をみんなで共有します。



参加者の声 (参加者アンケート・インタビューより)

今日のワールド・カフェに参加してみて、
感じたこと、考えたこと等を教えてください。

「働く」ということの
考え方が変わ
りました (1年・男性)

同世代の人と男女共同参画に
ついて話す機会がないので、
お互いの考えを交換するのは
いいなと思った (1年・女性)

男性も女性もいろいろなことを
考えているから、次はそれを
どう行動していくか
が大事だと思う (女性)

女性から見た男性、
男性から見た女性で
イメージが異なっていて
とても面白かった (1年・男性)

同世代の人たちが
「このようなことも
考えているのか!」と思い、
自分も頑張らなくては!
と刺激を受けました (1年・女性)

男女の隔たりって案外自分の中に
無意識にあるもので、
話すことで気づけた
(2年・女性)

相手を思って
自分を思って
行動することが大事
(2年・男性)

“当たり前はない”
と感じました (4年・女性)

常識にとらわれない
ことが大切だということが
分かった (2年・女性)

今日のワールド・カフェの感想等、
どうぞご自由にお書きください。

自分の考え方に固持せず、
多くの人の考え方に
触れられたことで
視野が広がった

(2年・女性)

普通の授業とは違って
新鮮だった

(2年・男性)

かた苦しくなく、
楽しかった

(1年・男性)

ぜひ、こういう会に
また参加してみよう

と思いました (1年・男性)

働き方について
考えることが
できてよかったです

(4年・女性)

最初は初めて会う人と
うまく話せるのか
不安でしたが、
とても楽しかったです

(1年・女性)

今後の課題が自分なりにできて
少しでも成長できたかな
と思いよかったです

(2年・女性)

身近な友達とも
今回のような話を
話し合えたらいいな

(1年・女性)



平成 26 年 3 月

文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課

<http://danjogaku.mext.go.jp>